

特集

町政懇談会の結果報告

～ もっと元気な和寒町を目指して ～

町政懇談会は、町政運営に町民の皆さんの意見を反映することを目的に毎年開催されています。今年度は、7月15日から8月4日までの12日間で行われ、計153名の出席者のもと、町政に対する活発な議論が交わされましたので、その内容についてご紹介いたします。

◆政策的要項について

今後、わっさむ町が歩むべき方向性など、町民の皆さんから出された政策的な要望事項についてご紹介いたします。

なお、重複する内容については、まとめて掲載しています。

Q 中学校の跡地活用についてはどのように考えているのか。

A 現在、検討委員会を立ち上げ、活用方法について検討してきているが、これといった案がないのが現状となっています。ホームページ、広報誌などでも募集し、継続して検討していきます。アイデアや情報があれば提供をお願いいたします。

Q 自治会に対する活性化事業補助金について、今年度で終了するが、来年度以降についても引き続き行ってほしい。

A 地域活性化補助のなかの特色あるイベントに対する補助については、平成22年で終了する計画となっています。自治会に移行し、3年が経過しました。地域で今後何が必要なのか、何が不足しているのかというところを今後の課題として検討していきます。

Q 加工センターの使用について、現在の施設は使用しづらい面があり、不便さを感じる。施設の今後のありかたについて聞かせてほしい。

A 加工センターについては、試験・研究施設として建設した経緯があり、今後もその考えを進めていく方向です。現在は、トマトジュースやみその製造などに使用していただいていますが、あくまで試験・研究施設であるため、製造販売などの商業ベースでの施設については、民間で設備投資を行っていくのが本来の姿だと考えています。試験・開発の面での使用で不便があれば、今後検討していきます。また、新規開業などについては、別途支援策も検討していきたいと考えています。

Q 高齢化社会で、今後まちのあちらこちらで空き家が増えてくると思う。人口減の歯止めとして、空き家の改修や取り壊しの補助などの政策を総合計画に盛り込んでほしい。

A 現在町では、ホームページでの空き家・空き商店の紹介、賃貸住宅建設の助成などの定住政策、また、省エネ改修助成や新しく耐震改修の助成も実施しており、住宅改修については、制限の制度ではありませんが、手厚い体制になっていると考えています。今後も継続して定住について積極的に検討していきたいと考えています。

Q 商店街でシャッターが降りているところが結構ある。商店街のあり方について、町としては何か考えているか。

A これまでも店舗改装など振興策を行っていますが、行政だけではどうしようもない課題でもあります。今後も商工会などと連携を図りながら継続して検討していきます。

Q 担い手となる若い世代への支援策がなかなかみえてこない。また、地域の関係について各種団体活動などで地域として集まる場が減ってきており、地域の関係も希薄になってきている。行政から支援、指導してほしい。

A 30代、40代の世代だけに直接支援するのは難しいですが、保育料の引下げや子ども手当など子育て支援を充実することで、負担を軽減できるような政策を進めています。地域の関係については、行政がなんでも行うということにはならないですが、地域や農協、普及所などと連携しながら良い方向に進められよう検討していきたいと考えます。



仲町自治会（7月22日）

◆自治会の意見要望について

各自自治会からの意見要望については、地域ごとの要望事項が多く含まれていることから、全町的に共通する事項のみ、一部をご紹介します。

Q 小学校からこども館まで歩かなければならない。炎天下が続く小学校1年生は体力的にも心配。

A 1年生については職員が迎えに行くなどして対応しています。今後利用者の意見を聞きながら、どのような方法が良いのか検討したいと考えています。

Q こどもの国の入場者の状況はどうか。剣淵ではアルパカ牧場をやっているが、その行き帰りの客に立ち寄ってもらえず、もつと大々的に客を呼び込むPRをしてはどうか。



三和菊野自治会（8月2日）

A GW初日は天候が悪く少ない状況でしたが、その後は増えてきています。売上も昨年より若干多い状況となっております。オープン時に旭川にもチラシを入れるなどPRをしてきています。今後もご意見を参考に、検討していきたいと考えています。

Q 南丘自然公園は将来的にどのような方向に持っていくのか、何か構想があるのか。年々利用者が減っており、多目的広場については閉鎖が望ましいのでは。キャンプサイトはもう少し整理をしていった方がよい。

A 昨年から多目的公園のトイレは閉鎖しています。多目的広場にサッカー場を整備してありますが、なかなか利用率が上がらない状況となっております。現在、キャンプ場の方に重点を置いて管理を行ってきていますが、キャンプ場の利用者も増えていない状況となっております。今の施設を維持した中で、喜んでいただける施設ということで検討していきたいと考えています。

Q 青少年会館の利用について、いつまで利用できるのか。まちの近くが利用しやすいが…

A 青少年会館については、大規模な修繕は行わず、現状で使用できるところまで使用するというところで進めてきています。老朽化も進んでいることから数年での使用が限界と考えられます。その後につい

ては、昼の使用については総合体育館、夜の使用については、小学校の体育館（そういう意図で建設をしてきている）を開放していきたいと考えています。

Q 保育所について、若い人がウターンなどで最近多く帰ってきて来ているようだが、定員は何人なのか。今後の考えもあれば聞かせてほしい。

A 保育所については、23年度から0歳児保育を開始するため、今年度改修を予定しています。また、子ども館との渡り廊下についても同様に予定しており、大規模な改修については、今年度で終了する計画となっております。定員については、現在100名となっております。また、制度では定員から10%程度までは、受入れ可能となっているため、当分の間現在の定員での運営で可能と考えています。

Q リサイクルセンターは、土・日曜日休みになってる。仕事をしている人には、使にくい状況であるため、月に1〜2回程度でもいいので、休日に開けてほしい。

A 休日に管理人をつけるのは難しい状況であり、無人での受入れはどうしても煩雑になってしまうということで、休みにしています。管理人などにも状況を確認しながら今後検討します。

Q 高齢者の独居が多くなってきた。なにかあった時に連絡する

る方法はあるのか。個人のことなので地域で細かく聞けない部分もある。町として情報は把握しているのか。

A 65歳以上、高齢者夫婦世帯で身体障害がありなど緊急を要する方については、緊急通報装置を設置しています。台数に制限があるため、要件に合わない人は、設置はできていない状況です。また、75歳以上の独居、80歳以上の夫婦世帯については、ヤクルトを配り安否確認をしています。その他、小地域ネットワークなど地域での連携をお願いしながら進めています。これから、さらに高齢化社会が進んでいきますので、地域と民生委員そして行政などがより連携していくことが必要と考えています。

この他にも、自治会の皆さんから多くの意見要望が寄せられました。寄せられた意見は今後の町政運営に反映されます。また、緊急を要するものや、後日確認が必要となる事項については、関係機関と協議を行うとともに、その処理状況を関係者及び各自自治会にお知らせすることになっております。意見要望に関する不明な点などがありましたら、役場担当窓口までお問い合わせください。